

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成29年3月31日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人みのりの村	特別養護老人ホーム海	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	製品名 : 見守りベッドシステム 製品特徴 : 入居者のさまざまな動作を検知する 入居者の状態に応じ検知する動作を選べる	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年2月22日	3台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】		
入居者の臥床時の動作を検知し通知することにより見守りを行う。 新規利用者、不穏な利用者、多動な利用者に使用。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】		
従来からセンサーは数種類使用していたが、床マットタイプは利用者が飛び越えてしまふ、背中タイプは取付不備により誤報が発生しやすい等の問題がありました。 ベッドにセンサーが内蔵されているので利用者に違和感を与えず、誤報も無く見守りができています。 見守り業務が効果的かつ効率的に行えスタッフの業務負担がだいぶ軽減されております。		
【介護ロボットの不都合な点】		
現在のところ特にありません。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成29年 3月24日

法人名	施設名	施設の種別
医療法人社団 恵慈会	介護老人保健施設おおくすの郷	介護老人保健施設/通所 リハビリテーション/短期 入所療養介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守り支援ベッドシステム ベッド内蔵型センサーによる『動作検知』で入居者を見守り、介護従事者の負担軽減をサポートする。	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年 2月15日	4台	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b>		
①使用する業務 ・見守り等の必要な入所者のベットとして使用する。		
②使用頻度等 ・入所利用者及び短期入所者のうち、歩き出しや見守り、声かけ等が特に必要な方に対し毎日使用している。		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b>		
①認知症症状があり、歩行ふらつきや夜間歩き出し等があり転倒のリスクの高い入所者の場合。 ・夜間のみ、コールは『起き上がり』に設定し使用する。 ・効果…入眠するまで5回ほどコールがあり、その都度訪室し声掛け等し、転倒しないよう対応した結果、入所者の転倒事故防止と同室者の安眠確保に効果大であった。		
②日中及び夜間ともに立ち上がりや歩き出しがあり、常に見守りが必要な入所者の場合。 ・従来、夜間についてはホールにベットを移動し、職員が常時見守りをしていた。 ・日中及び夜間ともに『起き上がり』に設定し使用する。 ・効果…入所者は常時、居室で過ごすことが可能となり安眠ができるようになった。 センサー連動コールにより、トイレ時の介助が素早くスムーズにできるようになり、職員の精神的負担が軽減された。		
③新規入所者及び短期利用者に使用し、施設生活が慣れるまでの間、ベットからの転倒や転落等の事故を未然に防ぐことができた。		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b>		
・リモコンの明りが気になりいじってしまう入所者がいるが、ロックされているので大きなトラブルにはなっていない。（入所者から見えない場所に設置して対応している。）		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成29年3月31日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人旭福社会	地域密着型介護老人福祉施設 第二やすらぎ園	地域密着型 介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守り支援ベッドシステム ベッド内蔵型センサーによる『動作検知』で入居者を見守り 介護従事者の負担軽減をサポートする	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年2月22日	1セット	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  認知症のある方に対して夜間のベッドから転落、離床後の転倒予防として使用している。夜間は1時間に1回センサーがありその都度、居室に伺い対応している。センサーが教えてくれることで夜間の状況がわかるようになっている。		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b> ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。  以前は夜間から朝方にかけて起きだしてくるも歩行が不安定なため転んでしまうことがあった。こまめに巡回をするも転倒してしまうことがあった。導入後は起き上がりの時点でセンサーが教えてくれるため転倒される前に対応することができるようになっている。		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b> ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。  特に不都合な点はありません。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成30年 3月 2日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人みのりの村	特別養護老人ホーム海	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りベッドシステム	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年 2月22日	3台	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b>		
<p>多動な利用者や新規利用者の臥床時の見守りに使用。 夜間就寝時（18：30から6：30）及び午睡時（12：30から14：00）に使用。</p>		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b>		
<p>従来は利用者の状況に合わせ「背中マット」「床マット」を選択して設置していたが、このベッドは利用者の状況により「起き上がり」「端座位」「離床」が設定でき、センサーを変更する必要がない。</p> <p>職員が定期巡回はしているが24時間見守りする事は不可能なので動いた時に通知してくれるので事故防止に役立つとともに職員の不安（負担）が減った。</p>		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b>		
特になし		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成30年 2月23日

法人名	施設名	施設の種別
医療法人社団 恵慈会	介護老人保健施設おおくすの郷	介護老人保健施設/通所リハビリテーション/短期入所療養介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守り支援ベッドシステム ベッド内蔵型センサーによる『動作検知』で入居者を見守り、介護従事者の負担軽減をサポートする。	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年 2月15日	4台	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b>		
①使用する業務 ・見守り等の必要な入所者のベットとして使用する。		
②使用頻度等 ・入所利用者の歩き出しや見守り、声かけ等が特に必要な方に対し毎日使用している。		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b>		
①認知症症状があり、歩行ふらつきや夜間歩き出し等があり転倒のリスクの高い入所者の場合。 ・夜間のみ、コールは『起き上がり』に設定し使用する。 ・効果…尿意があり動き出しの時コールがあり、その都度訪室し声掛け等をして、トイレ介助を行った結果、入所者の転倒事故防止と同室者の安眠確保に効果があった。		
②日中及び夜間ともに立ち上がりや歩き出しがあり、常に見守りが必要な入所者の場合。 ・日中及び夜間ともに『起き上がり』に設定し使用する。 ・効果…入所者は常時、居室で過ごすことが可能となり安眠ができるようになった。 センサー連動コールにより、トイレ時の介助が素早くスムーズにできるようになり、職員の精神的負担が軽減された。		
③新規入所者及び短期利用者に使用し、施設生活が慣れるまでの間、ベットからの転倒や転落等の事故を未然に防ぐことができた。		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b>		
・リモコンの明りが気になりいじってしまう入所者がいるが、ロックされているので大きなトラブルにはなっていない。（入所者から見えない場所に設置して対応している。）		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成30年3月8日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人旭福社会	地域密着型介護老人福祉施設 第二やすらぎ園	地域密着型 介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守り支援ベッドシステム ベッド内蔵型センサーによる『動作検知』で入居者を見守り 介護従事者の負担軽減をサポートする	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年2月22日	1セット	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  現在、夜間にトイレに行こうとベッドより起き上がり、車椅子に自ら移乗する際に転倒されることが頻繁にあった方に使用している。自らトイレに行こうと夜間3～4回センサーが鳴り直ぐに居室へ伺いベッドから車椅子への移乗時、夜間のトイレでの見守りができ転倒事故もなくなっている。		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b> ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。  以前は夜間に3～4回自ら起き上がり転倒されてしまうことがあった。夜間の巡回も20～30分毎に行い転倒されないよう対応していたがそれでも転んでしまうことがあった。ベッド内蔵型センサーベッドを使用することで起き上がった時点でセンサーが反応し、ナースコールを通して教えてくれるため直ぐに駆けつけることができ事故を未然に防ぐことができている。使用後は他の利用者の方と同様に1時間に1回の巡回で対応できるようになり、職員の負担の軽減につながっている。特に夜間の居室内の様子はわかりにくい為、センサーの使用は有効的だと思われる。		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b> ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  センサーが反応する度に再設定をしなければならないため、設定をやり忘れることもあり得るので設定忘れ防止の機能等があれば助かる。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成31年 3月20日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人みのりの村	特別養護老人ホーム海	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りベッドシステム	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年 2月22日	3台	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b>		
<p>多動な利用者や新規利用者の臥床時の見守りに使用。 夜間就寝時（18：30から6：30）及び午睡時（12：30から14：00）に使用。</p>		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b>		
<p>ベットセンサー設置が簡単にでき、また、定期巡回以外の見守りがセンサーで対応できるので業務負担軽減ができています。 使い勝手が良いので、同機種の後継機となるベットを新たに1台導入しました。</p>		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b>		
<p>特になし</p>		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成31年 2月25日

法人名	施設名	施設の種別
医療法人社団 恵慈会	介護老人保健施設おおくすの郷	介護老人保健施設/通所 リハビリテーション/短期 入所療養介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守り支援ベッドシステム ベッド内蔵型センサーによる『動作検知』で入居者を見守り、介護従事者の負担軽減をサポートする。	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年 2月15日	4台	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b>		
①使用する業務 ・見守り等の必要な入所者のベットとして使用する。		
②使用頻度等 ・入所利用者の歩き出しや見守り、声かけ等が特に必要な方に対し毎日使用している。		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b>		
①夜間不眠や不安があり歩き出すなどの動きがある入所者に使用する場合。 ・コールは『起き上がり』に設定し使用する。 ・効果…利用者の睡眠状態の把握や動き出しのタイミングが察知できるようになり素早い対応が可能となり、転倒や転落事故の予防に役立った。		
②日中に車いす上での体動が激しい為、車いすからの転落事故が予測される（車いす座位が長時間できない）利用者に使用する場合。 ・日中及び夜間ともに『起き上がり』に設定し使用する。 ・効果…入所者は常時、居室で過ごすことが可能となり安眠ができるようになった。 日中、夜間ともにベット上での体動や起き上がりを察知できるようになり、入所者の体調や覚醒状態を知ることが可能となり、事故の予防や職員の精神的負担が軽減された。		
③新規入所者及び短期利用者に使用し、施設生活が慣れるまでの間、ベットからの転倒や転落等の事故を未然に防ぐことができた。		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b>		
・リモコンの明りが気になりいじってしまう入所者がいるが、ロックされているので大きなトラブルにはなっていない。（入所者から見えない場所に設置して対応している。）		



(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成31年3月11日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人旭福社会	地域密着型介護老人福祉施設 第二やすらぎ園	地域密着型 介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守り支援ベッドシステム ベッド内蔵型センサーによる『動作検知』で入居者を見守り 介護従事者の負担軽減をサポートする	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年2月22日	1セット	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 現在、夜間にトイレに行こうとベッドより起き上がり、車椅子に自ら移乗する際に 上手く座れなく尻もちをついてしまう方、認知症があり夜間に起きだしてきてしま う方などの事故防止、見守りで使用している。		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b> ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用 状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 以前は夜間に3～4回自ら起き上がり転倒されてしまうことがあった。夜間の巡回 も20～30分毎に行い転倒されないよう対応していたがそれでも転んでしまうこと があった。ベッド内蔵型センサーベッドを使用することで起き上がった時点でセンサ ーが反応し、ナースコールを通して教えてくれるため直ぐに駆けつけることができ事 故を未然に防ぐことができている。使用後は他の利用者の方と同じように1時間に1 回の巡回とセンサー反応時に対応しており、職員の負担の軽減につながっている。特 に夜間の居室内の様子はわかりにくい為、センサーの使用は有効的だと思われる。		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b> ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 センサーが反応する度に再設定をしなければならぬため、設定をやり忘れること もあり得るので設定忘れ防止の機能等があれば助かる。 現在販売されているものは上記の再設定をしなくても使用ができるようになっ ている。		

